

教職員各位

学校法人臼井学園 臼井幼稚園

園長 志田 裕美子

臼井幼稚園における熱中症対策の推進について

地球温暖化の影響により、年々気温の高い時期の始まりが早く、また長くなっていることを鑑み、保育中、預かり保育、その他すべての活動中の園児及び教職員の熱中症防止のため、環境省による夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン2020年を参考に下記のように定めます。運用についてはその趣旨をよく理解し、保育活動を行なって下さい。

記

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の 目安	日常生活における注意事項	熱中症予防運動指針
31℃以上	すべての生活活動で起こる危険性	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。
28～31℃		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒 熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩を取り、水分・塩分の補給を行なう。 暑さに弱い子または人は運動を軽減または中止。
25～28℃	中程度以上の生活活動で起こる危険性	運動をする際は十分に休憩を受け入れている	警戒（積極的に休憩） 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩を取り適宜、水分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21～25℃	強い生活活動で起こる危険性	一般的に危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意（積極的に水分補給）熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分を補給する。

参考：環境省熱中症予防対策ガイドライン2020年

<熱中症予防対策>

- ・屋外での活動は、上記指針を参考にする。
- ・帽子を必ず着用させる。
- ・喉が渇いていなくても、こまめに水分を補給する。
- ・濡らしたタオルで体を冷やすこと。

<応急処置>

- ・涼しい場所に移動する。
- ・冷たい飲み物を飲む。
- ・服を緩めて熱を発散する。
- ・首やわきの下、太ももの付け根を冷やす。

<事故発生時の対応>

- ・直ちに職員室に運び、周囲の教職員に知らせる。
- ・救急車を要請するとともに、保護者に連絡する。
- ・事故発生についての記録を後日残す。

以上